

夏も近い

夏も近づく 人十八夜 野にも 山にも

若葉かしのけり

あれた見舞船の文は 茶の干ばやあはれ

赤物だす才に おけりかま

と考たうふうた 相手とあわせ

手もうつにり 又あわせたりある

りぶふはりのと 色らしい

今は じつとすわりこみ 見つけたい

スマホシ だ

おとろくことと スマホシ を 踏つてみる

ハルダシ はいる人

心雪かき くらうてい

何かを 知ることも出来る

本格論 研究には浅い

でも満足のよう

時代たふして あることがあふ

それごとく よさはあり

次は何か出てくるのだろうか

そういえば 茶とりもやつていた

たしかにいつかを忘れていた

それによろしく大人を扱っていいのだ

よろしく

たぐいの過程はいろいろあるから大変だ

相手は人それぞれだ

た人とどう向き合っていくのか

た人の生活は

私も勉強中

人といるのはむしろいい

2024
6/3